### 用地調査等業務共通仕様書中「別記11 石綿調査算定要領」 新旧対照表

(旧)

(第1条 略)

(用語の定義)

第2条 この要領において「対象石綿」とは、「建築物解体工事共通仕様書」(国┃第2条 この要領において「対象石綿」とは、「建築物解体工事共通仕様書」(国 土交通省大臣官房官庁営繕部)に定める「<mark>石綿</mark>含有吹付け材」、「<mark>石綿</mark>含有保温 | 材等」及び「石綿含有成形板」をいう。

(新)

(第2条第2項から第3条まで 略)

(石綿調査)

- 第4条 石綿調査は、現地における調査を基本とし、次の各号に掲げる区分に応じ、第4条 石綿調査は、現地における調査を基本とし、次の各号に掲げる区分に応じ、 当該各号に定める方法により、調査を行うものとする。ただし、石綿の製造・使 用等が禁止された平成18年9月以降に着工した建物等を除く。
  - 一 石綿含有吹付け材及び石綿含有保温材等

(イからロまで 略)

二 石綿含有成形板

(イからハまで 略)

ニ みなし含有とする場合は、建築物石綿含有建材調査者及びアスベスト診断 士等の専門家の意見を参考とし、調査可能な範囲をもって対象石綿の種類及 び施工範囲を決定するものとする。

(第2項 略)

(調香表)

- り作成し、次の各号に掲げる項目につき、それぞれ当該各号に定める事項を記載 するものとする。
  - 一 調査年月日 調査を実施した年月日
  - 二 調査者 調査を実施した担当者の氏名
  - 三 建物等の所在地 調査した建物等の所在地
  - 四 建物等の所有者住所 建物等の所有者の住所又は主たる事務所の所在地
  - 五 建物等の所有者氏名 建物等の所有者の氏名又は名称
  - 六 建物等の番号 所有者ごとに整理した番号
  - 七 建物の構造・用途・面積 建物の構造、用途及び面積
  - 八 建物等の建築等時期の調査 建物等の建築等時期

(第1条 略)

(用語の定義)

土交通省大臣官房官庁営繕部)に定める「アスベスト含有吹付け材」、「アスベ スト含有保温材等」及び「アスベスト含有成形板」をいう。

(第2条第2項から第3条まで 略)

(石綿調査)

- 当該各号に定める方法により、調査を行うものとする。
- 一 石綿含有吹付材及び石綿含有保温材等 (イからロまで 略)
- 二 石綿含有成形板

(イからハまで 略)

ニ みなし含有とする場合は、アスベスト診断士等の専門家の意見を参考とし、 調査可能な範囲をもって対象石綿の種類及び施工範囲を決定するものとす る。

(第2項 略)

(調香表)

- 第5条 対象石綿の調査表は、前条の調査結果に基づき、様式第1の石綿調査表よ【第5条 対象石綿の調査表は、前条の調査結果に基づき、様式第1の石綿調査表よ り作成し、次の各号に掲げる項目につき、それぞれ当該各号に定める事項を記載 するものとする。
  - 一 所在地 調査した建物等の所在地
  - 二 調査年月日 調査を実施した年月日
  - 三 調査者 調査を実施した担当者の氏名
  - 四 整理番号 所有者ごとの番号
  - 五 所有者氏名 建物等の所有者の氏名又は名称
  - 六 所有者住所 建物等の所有者の住所又は主たる事務所の所在地
  - 七 建物等の仕上材等の調査結果 調査した仕上材等の名称、調査方法
  - 八 検体の分析結果 検体の分析結果 (専門機関の報告書を含む。)

- 九 調査方法及び石綿含有建材の名称 調査方法、使用を確認した石綿含有吹付 け材、石綿含有保温材等の名称、調査した石綿含有成形板(仕上げ材等)の名 称、分析調査の有無及び判断理由
- 十 分析調査 分析調査結果 (専門機関の報告書を含む。)
- 十一 最終判定 対象石綿の使用の有無及び判定理由
- 十二 備考 判定根拠に関する事項及びその他参考事項

(第6条及び第7条 略)

(補償額の算定)

働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設工事に係る資材の再資 源化等に関する法律(平成12年法律第104号)その他関係法令等に定める方法等 に基づく除去処分に要する諸費用について適正に算定するものとする。

(第2項から第5項第1号まで 略)

- 二 石綿含有成形板が使用されている場合
  - イ 石綿の除去費用
  - ロ 石綿廃材の運搬費用
  - ハ 石綿廃材の処分費用
  - 二 諸経費等
  - ホ 前号イからハのうち、記載が必要な費用

- 九 最終判定 対象石綿の使用の有無
- 十 備考 判定根拠に関する事項及びその他参考事項

(第6条及び第7条 略)

(補償額の算定)

第8条 対象石綿の除去処分費用は、大気汚染防止法(昭和43年法律第97号)、労 第8条 対象石綿の除去処分費用は、大気汚染防止法、労働安全衛生法、廃棄物の 処理及び清掃に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律その 他関係法令等に定める方法等に基づく除去処分に要する諸費用について適正に 算定するものとする。

(第2項から第5項第1号まで 略)

- 二 石綿含有成形板が使用されている場合
  - イ 石綿の除去費用
  - ロ 石綿廃材の運搬費用
  - ハ 石綿廃材の処分費用
  - 二 諸経費等
- ホ イからハのうち、記載が必要な項目

# 様式第1石綿調査表

調査年月日			訓 査	者		
建物等の所在地						
	住所(所在地)					
建物等の所有者	氏名(名称)					
建物等の番号		建物の構	造・用途・面積			
	建物建築等時期		口建物登記記録	□建築確認書		
(1)建物等の建築 等時期の調査	年	月	口建築請負契約	書 口設計図書		
4 1/4/02 MI			口その他(	)		
	〇調査方法					
	・目視による	石綿使用	の有無の確認			
	ロなし		あり 口使用	の可能性あり、または不明		
	<ul> <li>既存図等に</li> </ul>	よる石綿	使用の有無の確認			
	口なし		あり 口使用	の可能性あり、または不明		
	・施工業者等	への石綿	使用の有無の確認			
	口なし		あり 口使用	の可能性あり、または不明		
	<ul><li>建物等所有者への石綿使用の有無の確認</li></ul>					
(2) 調査方法 <u>及び</u>	ロなし		あり 口使用	の可能性あり、または不明		
石缔合有建材	<ul><li>その他の方</li></ul>	法〔		)での石綿使用の有無の確認		
の名称	ロなし		あり 口使用	の可能性あり、または不明		
	〇使用を確認した石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の名称					
	(					
	〇観査した石綿含有成形板(仕上げ材等)の名称					
	(別紙「石綿合有建築材料表」参照					
		○分析調査の有無 □分析調査する □分析調査しない				
	(判断理由:	90	口が祈願重しる	)		
	分析調查結果報	告書によ	ő			
(3) 分析調査	口使用されて	いる	口使	用されていない		
	口使用されて	いる(み	なし含有の場合を	含む。)		
(4)最終判定	口使用されて	口使用されていない				
(対象石錦の使用有無)	判定理由:					
债 考						

# 様式第1石綿調査表

調査年月日	平成〇年	0月0日	胡 :	在 省	0000000000	
建物等の所在 地	<u>00市000</u>	<del>\$</del> 00000	00000	1		
建物等の所有	住所(所在地)	00#00H	<b>〒00町0</b>	TEO番0	4	
者	氏名(名称)	000	0 0			
建物等の番号	O	建物の構造 積	・用途・面	00造	00建 000 000ml	
(1) 建物等の建築	建物建築等時	ta .	口建物的	医配配螺	□建築確認書	
日   経初寺の建泉		年 月	口建築額	負契約書	□設計図書	
			口その作	\$ (	)	
	〇調査方法					
	<ul><li>目標に</li></ul>	よる石綿使用	の有無の研	182		
		なし ロ	あり	口使用の可	能性あり、または不明	
	- 設計図	≝等による石	綿使用の有	無の確認		
		なし ロ	あり	口使用の可	能性あり、または不明	
	<ul> <li>施工業</li> </ul>	書等への石綿	B-17-11-11			
	_				「能性あり、または不明	
	<ul><li>建物等所有者への石綿使用の有無の確認</li></ul>					
(2)調査方法 <u>び仕</u> 石総含有建材			あり	口使用の可	能性あり、または不明	
の名称		の方法〔			)での石綿使用の有無の確認	
		なし ロ	あり	口使用の可	「能性あり、または不明	
	〇使用を確認した石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の名称					
	(					
	〇脚査した石綿含有成形板(仕上げ材等)の名称					
	(別紙「石綿含有建築材料表」参照 )					
	○分析調査の有無 □分析調査する □分析調査しない					
				m Car.		
(3) 分析調査		果報告書によ	0			
	口使用さ	れている		口使用さ	れていない	
(4) 最終判定	口使用さ	れている (み	なし含有の	場合を含む	; <sub>e</sub> )	
(対象石線の使用有無)		れていない				
(四条公司の支持有限)	LIBERT C					
情考						

### 石錦含有建築材料表

建物	勿等(	の番号	:	
PF	右	去	-	

1 1	
	$\neg$
	$\top$
	$\top$
	+
	+
	+
+	+
	+
	$\neg \vdash$
	$\top$
	$\top$
+ +	+
+ +	+
+ +	+
	+
	$\perp$

判定・・・○ 石綿の使用なし

△ 石跡の使用の可能性ありまれは干剤

× 石綿の使用あり

別紙

## 石綿含有建築材料表

建料	9等6	の番号	:	
所	有	者	:	

仕上材名称	形状寸法	石綿使用の判定		備考
屋根工事				
日本瓦莊	いぶし瓦-野地板を除く下地共	使用なし	O	
55-鉄板瓦英	厚 0. 35mm・野地板を除く下地員	使用なし	Q	
日本瓦菲	<b>ゆう薬瓦・標準色・野地板を除く下地共</b>	使用なし	O	
<u>外壁工事</u>				
壁・スレートボード張	71497' N极·厚 5mm-实付張-下地別途	使用の可能性あり	△	
内外装・複層仕上塗材仕上	複層塗材-6525吹付946	使用なし	Q	
<u>壁・混合プラスター塗</u>	厚 20mm-9スポード典	使用なし	O	
壁・けい酸が妊娠器	化粧板·厚 Smm-日透張·下地別途	使用なし	Q	
天井・化粧スレートボード	鮮天用·厚 Sam-日透張·下地別途	<u>不明</u>	Δ	
<u>外壁・石綿スレート板張</u>	小波・木造下地・下地別造	使用あり	×	

判定・・○ 石綿の使用なし

△ 石株の使用の可能性ありまれは干剤

× 石綿の使用あり

100

#### 調査承諾確認書

業務に係る下記の建物等に対する石綿調査算定要領に基づく分析調査については、下記により承諾したことを確認致します。

恕

建物等の所有者氏名		
建物等の養養	構造・用途	承諾の条件

年 月 日

建物等所有者 住所

氏名

(fi)

(参考資料 略)

様式第2

(発注者) 殿

#### 調査承諾確認書

<u>平成○○年度○○○○○○日地調査</u>等業務に係る下記の建物等に対する石綿調査算 定要領に基づく分析調査については、下記により承諾したことを確認致します。

恕

建物	等の所有者氏名	00 00
調査各号	構造・用途	承 緒 の条 件
		試料採取箇所のうち〇〇については補修の必要はないが、〇〇については〇〇〇〇により補修を要する。
		回上

<u>平成</u> 年 月 日

建物等所有者 住所

氏名

(A)

(参考資料 略)